

研究会開催通知

(昭和 54 年 4 月 15 日～5 月 31 日)

研 究 会	日	時	会 場	備 考
データベース管理システム	5 月 11 日 (金)	14 : 00～17 : 00	機械振興会館	下記参照
人工知能と対話技法	5 月 16 日 (水)	14 : 00～17 : 00	電 総 研	同 上
コンピュータビジョン	5 月 19 日 (土)	10 : 30～12 : 30	名古屋大学	同 上
ソフトウェア工学	5 月 23 日 (水)	14 : 00～17 : 00	機械振興会館	同 上
計算機アーキテクチャ	5 月 23 日 (水)	14 : 00～17 : 00	同 上	同 上

◆ 第 13 回 データベース管理システム研究会

(主査：穂鷹良介，代表幹事：植村俊亮)

日 時 昭和 54 年 5 月 11 日 (金) 午後 2 時～5 時

会 場 機械振興会館 地下 3 階 1 号室

〔東京都港区芝公園 3-5-8，地下鉄：日比谷線神谷町，都営 1 号線大門，都営 6 号線御成門下車，国電：浜松町下車，バス：新橋一汐谷線東京タワー，等々力ー東京駅八重洲線虎ノ門 5 丁目下車，Tel. 03(434)8211〕

- 議 題 (1) データベース意味論への一つのアプローチ 小林功武 (産業能率大)
- 〔概要〕 データベース・リレーションのタイプはデータの意味を担うものと考えられる。その意味を述語論理の形で記述することを試みる。意味条件は場合によってデータ保全条件として，あるいは推論規則として働く，データの正当性確認と推論のために，述語論理によるデータベース探索が役立つことを示す。
- (2) オフィス・コンピュータ MELCOM 80/38 用 DBMS; DMS-3 について 魚田勝臣，小碓暉雄，山崎洋美，溝口徹夫 (三菱・計算機製作所)
- 〔概要〕 オフィス・コンピュータ MELCOM 80/38 用に CODASYL 型データベース管理システム DMS-3 を開発した。DMS-3 の一般的機能，EUL その他構築上でのポイントについて論じる。
- (3) IBM システム/38 のデータベース機能 小江畑浩 (日本アイ・ビー・エム)
- 〔概要〕 IBM システム/38 のデータベース管理機能は関係データベース模型にもとづく平面ファイルをサポートしており，ファームウェアによりシステム内に統合されている。その基本的特徴を，対話型データベースユーティリティを含めて紹介する。

◆ 第 10 回 人工知能と対話技法研究会

(主査：田中幸吉，代表幹事：白井良明，田村進一)

日 時 昭和 54 年 5 月 16 日 (水) 午後 2 時～5 時

- 会 場** 電子技術総合研究所 A会議室
〔東京都千代田区永田町 2-6-1, 地下鉄: 有楽町線永田町下車徒歩 2 分, 丸ノ内線国会議事堂下車徒歩 3 分, Tel. 03(581)0441〕
- 議 題** (1) 人間の記憶への認知科学的接近 溝口文雄 (東理大・理工)
〔概要〕 人間の記憶内の知識表現とその計算機シミュレーションについて, 道具
だての準備状況およびプロトタイプモデルの解析を述べる.
- (2) Production System を応用した医学教育・コンサルテーションシステム
MECS-AI 小山照夫 (都・老研), 開原成允 (東大病院),
南川忠利 (東芝総研), 八坂敏夫 (PL病院)
〔概要〕 東大病院を中心に研究を進めている. Production System による心臓病,
診断・治療の Expert System MECS-AI について解説する.

◆ 第 1 回 コンピュータビジョン研究会

- (主査: 福村晃夫, 代表幹事: 田村秀行, 鳥脇純一郎, 山本真司)
- 日 時** 昭和 54 年 5 月 19 日 (土) 午前 10 時 30 分~12 時 30 分
- 会 場** 名古屋大学工学部 8 号館 2 階情報工学専攻課程会議室
〔名古屋市千種区不老町, 国鉄: 名古屋駅より, 地下鉄東山線藤ヶ丘行にて本山
駅下車, 徒歩 10 分, Tel. 052(781)5111〕
- 議 題** (1) 気象図自動処理システムの構成
吉田雄二 (名大・大型計算機センター), 福村晃夫 (名大・工)
〔概要〕 気象図を対象とする画像データバンクを自動構成するシステムについ
て, その概要と各種の処理内容を述べる.
- (2) 画像処理サブルーチンライブラリ SLIP について——機能表と拡充計画
鳥脇純一郎, 福村晃夫 (名大・工)
〔概要〕 画像処理サブルーチンライブラリ SLIP 開発の指針として作成された画
像処理機能の表を示し, 今後の拡充計画を述べる.
- (3) 構造解析によるテクスチャの記述
富田文明, 白井良明 (電総研), 辻 三郎 (阪大・基礎工)
〔概要〕 自然物のテクスチャの画像の構造解析を行ない, テクスチャをその構成
要素と配列法則により記述する方法を述べる.

◆ 第 10 回 ソフトウェア工学研究会

- (主査: 国井利泰, 代表幹事: 大野旬郎, 原田賢一, 斉藤信男)
- 日 時** 昭和 54 年 5 月 23 日 (水) 午後 2 時~5 時
- 会 場** 機械振興会館 地下 3 階 2 号室〔所在地は前記参照〕
- 議 題** (1) ユーザが望むソフトウェア工学 三浦大亮 (東レ)
〔概要〕 ソフトウェア工学を, アカデミックな研究テーマ, あるいはコンピュー
タメーカのソフトウェア工場の技術から, ユーザの実務の中で, そこそこ
の努力をすれば活用できる技術へ展開することが望まれる. その際にポイ
ントとなるいくつかの事柄について問題点を述べ, 討議したい.

1. ユーザの環境
 2. 即効性のある技術を
 3. 差別化できる水準に
 4. 教育・訓練および維持・向上の技法も
 5. 管理の方法が不可欠
- (2) プログラミング現場とソフトウェア工学 山崎利治 (日本ユニバック)
- 〔概要〕 現場は現在のソフトウェア工学から何を汲取り、どのように育てなければならないかを述べる。

◆ 第 26 回 計算機アーキテクチャ研究会

(主査: 石井 治, 代表幹事: 有澤 博, 内田俊一)

- 日 時 昭和 54 年 5 月 23 日 (水) 午後 2 時～5 時
- 会 場 機械振興会館 地下 3 階 1 号室〔所在地は前記参照〕
- 議 題 (1) SAMD 計算機—A High Level Data Flow Machine—
元岡 達, 鈴木達郎, 喜連川優, 新岡香織 (東大・工)
- 〔概要〕 データ駆動の概念をアルゴリズムレベルに適用したシステムを実現したので制御方式, ソフトウェア構成などについて報告する。
- (2) 汎用マイクロアセンブラ AML について
内田俊一, 棟上昭男 (電総研)
- 〔概要〕 ビット・スライス型マイクロプロセッサ (AMD 2900 シリーズ) を主な対象としたマイクロアセンブラ AML を開発したので報告する。
- (3) 待ち行列システムシミュレーションにおける並列処理
中川 徹, 長谷川高志, 近江谷康人, 隈田一郎, 相磯秀夫 (慶大・工)
- 〔概要〕 多数のマイクロプロセッサを構成要素とした高速安価な待ち行列系シュレータの並列処理について報告する。

創立 20 周年記念論文の公募について

情報処理学会では創立 20 周年を記念して, 下記により「記念論文」を公募することになりました。会員の皆様には奮って応募されますようご案内いたします。

1. 応募資格

情報処理学会の会員 (正会員又は学生会員) であること。応募論文は下記の部門に分けて審査する。

第 1 部門 昭和 54 年 3 月末現在の学生会員又は 30 歳未満の正会員を対象とする。

第 2 部門 第 1 部門以外の正会員を対象とする。

ただし, 同一論文に第 1, 第 2 両部門の対象となる会員が含まれる場合は

第2部門として取扱う。

2. 論文の性格と書き方

- ア. 情報処理に関するオリジナルな論文であること。
- イ. 「情報処理」原稿執筆案内の書き方によるが、制限ページ数は12ページとする。ただし、論文はできるだけ簡けつにまとめることが望ましい。
- ウ. 論文は邦文に限る。
- エ. 論文には応募資格部門を明記すること。
- オ. 論文は正論文1部およびコピー5部を提出すること。

3. 応募方法と論文の書き方

- ア. 応募論文の受付期間は昭和54年1月1日から8月31日までとする。
- イ. 応募論文は記念論文査読委員の査読に基づき、記念論文選考委員会で採否を決定する。原則として論文の著者に照会することはしないが、採択決定後に執筆について助言することがある。
- ウ. 記念論文選考委員会は第1部門および第2部門につき、それぞれ下記を限度として受賞論文を選定する。

第1部門： 3件以内

第2部門： 5件以内

上記の受賞論文のうち、特に優秀なものを3件以内を入選論文とし、その他を佳作論文とする。

- エ. 選考結果は昭和54年12月31日までに論文の著者に通知する。
- オ. 選考結果は「創立20周年記念式典」において公表し、受賞論文の表彰を行う。
- カ. 受賞論文は「創立20周年記念会誌」に掲載し、又「創立20周年記念全国大会」において講演発表する。
- キ. 応募論文はIFIP Congress 80の論文と重複しないよう注意すること。重複した場合は受賞を取り消すことがある。
- ク. 入賞しなかった論文は著者の希望により一般論文扱いとする。

4. 表 彰

- ア. 各入選論文の著者の1人（原則として第一著者）に対しIFIP Congress 80参加費（日本—オーストラリア間交通費、会期中のオーストラリア滞在費、および登録費）を学会が負担する。ただし、参加者はIFIP Congress 80報告書を提出する。
- イ. 各佳作論文の著者の1人（原則として第一著者）に対しIFIP Congress 80登録費を学会が負担する。
- ウ. 受賞論文のすべての著者に対する表彰状および記念品を授与する。
- エ. 受賞論文1編につき論文別刷100部を贈呈する。

5. そ の 他

不明の事項については本学会事務局に問合せること。

第 20 回 通 常 総 会 の お 知 ら せ

昭和 54 年度通常総会を下記によって開催いたします。総会の案内状は、別途郵送いたしますので、ご欠席の場合には、必ず委任状をご返送ください。

記

日 時 昭和 53 年 5 月 17 日 (木) 13:30~14:30

会 場 機械振興会館 6 階 66 号室

- 総会次第
1. 会長あいさつ
 2. 昭和 53 年度事業報告および決算報告
 3. 昭和 54 年度事業計画および予算審議
 4. 昭和 53 年度論文賞の発表と表彰
 5. 新役員の選定
 6. その他

特別講演 (14:40~)

研究・開発雑感——ソフトウェア工学によせて—— 大野 豊 (前副会長)

「論文誌」のご購読について

本年 1 月より発行された「情報処理学会論文誌」(隔月刊)は有料頒布(年間購読料: 会員 4,500 円, 非会員 7,800 円)となっていますので、昨年の「情報処理」10 月号添付の購読申込書により、お申込みください。現在ならば第 1 号から購読することが出来ます。

欧文誌 “JIP” のご購読について

欧文誌 “Journal of Information Processing” (略称 JIP) は、昨年 4 月に創刊されました。第 5 号は 4 月上旬に発行される予定です。購読希望の方は、第 19 巻 1 号あるいは 2 号の本欄の申込用紙をご利用のうえ、お申し込みください。